

協定企業名	三菱商事株式会社
交流行事名	第7回「三菱商事 千年の森」森林保全ボランティア活動
開催日時	平成27年10月24日（土） 10時00分～15時30分
開催場所	安芸市妙見山市有林
主な参加者・人数	三菱商事株式会社グループの社員の皆さんとご家族（55名） 高知東部森林組合（7名）、安芸市（14名）、高知県（3名） 総勢 79名
概要	昨年植樹した樹木の手入れ、間伐体験
当日の様子	<p>第7回「三菱商事 千年の森」交流活動の1日目は快晴のもと、三菱商事株式会社グループの社員の皆さんとご家族により、森林保全ボランティア活動が行われました。</p> <p>参加者は過去最高の55名。韓国三菱から2名の方も参加されており、交流活動が広がっているのを実感しました。</p> <p>まずは、高知東部森林組合安芸支所において開会式が行われました。</p>  <p>昨年に引き続きご参加の三菱商事関西支社長様からのご挨拶、安芸市副市長から歓迎のご挨拶、安芸市農林課から協働の森の概要説明、高知県安芸林業事務所からは森林学習として森林整備、間伐作業について説明がありました。作業は6班に分かれて行います。</p> <p>説明の後はバスに分乗して、妙見山に向かいます。途中、三菱の創業者岩崎彌太郎ゆかりの星神社に立ち寄り、参拝しました。参加者の皆さんは、地元安芸市のNPO安芸市未来会議の皆さんからいただいた絵馬を神社に奉納しました。</p>  <p>参拝後は、神社の近くの協定森で、昨年植樹した4種類100本の桜の苗木の手入れをしました。植樹したエリアには、近年増えてきたシカの被害を防ぐため、シカよけのネットを張っていました。今回の手入れは、苗木の周りに肥料をまくもので、苗木の成長を促します。</p>



また、昨年支社長が記念植樹された「イチイ」の木にも肥料をまきました。



この後は間伐地広場に移動し、お待ちかねの昼食です。安芸市の皆さんが用意してくださったお弁当、豚汁、鮎の塩焼きです。備長炭で焼いた焼きたての鮎の味は格別でした。



昼食後は、森林組合の代表理事専務よりノコギリとナタによる間伐作業の注意事項について説明がありました。その後、各班ごとに記念撮影を行い、隣接する間伐地に移りました。



間伐するのは、30～40年生のヒノキで、直径10～20cmです。急斜面での作業に苦勞しましたが、森林組合の方から指導していただき、1人2～3本切ることができました。腕と腰にくる作業でしたが、木が倒れると達成感があり、特に掛かり木なしに倒れると拍手が起こっていました。

中には、チェーンソーでの伐採を体験した方もいました。チェーンソーだったらノコギリに比べるとあっという間に倒してしまい、「楽や～」という声も聞かれました。



皆さんのおかげで、木が切り倒されるたびに森林に太陽の光が注ぎ込まれ、明るくなっていきました。



お土産に、輪切りにしたヒノキのコースターをいただきました。今は切ったばかりなので、水を多く含んでしっとりしていますが、紙に包んでゆっくり水分を蒸発させると、割れることなく乾燥させることができるそうです。

最後に全員で記念撮影をして、森林保全ボランティア活動は終了しました。

夜は、交流会で親睦を深めました。

2日目は、ゆず収穫体験とゆず工場の見学をしました。

1泊2日の交流活動、お疲れ様でした。来年も是非お越しください。

